

自己実現2022

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

3年生で実施する実力考查は5回あります。①第1回実力考查(4/12~13)実施済み。②第2回実力考查(6/14~15) ③第3回実力考查(9/1~2) ④第4回実力考查(10/1~2) ⑤第5回実力考查(11/10~11)で判定資料に用いる語句説明を以下に記します。

[A%・B%成績]

3年生の実力考查は、成績結果を「A%」・「B%」という数値で表示します。さらに、その成績にもとづき神戸高校独自の合否追跡調査を行い、資料を作成しています。

「A%」成績は次のように算出します。

文系 (国: 200+英: 200+数: 200+社: 200+理: 100) / 9

理系 (国: 200+英: 200+数: 200+社: 100+理: 200) / 9

◎第1回実力考查は、「倫理、政治経済」が未実施なので、それを除いたデータで算出しています。

「B%」成績は、校内実力考查(記述模試)のデータのみ利用し、次のように算出します。

文系 (国: 200+英: 200+数: 200) / 6

理系 (英: 200+数: 200+理: 200) / 6

合否追跡調査に用いる総合成績は、第3回~5回の実力考查の各科目の平均を算出し、「A%」・「B%」成績の算出式に代入します。

「A%」成績が5教科の総合的な実力(大学入学共通テストの得点状況と密接な関連があります)を示すのに対し、「B%成績」は国公立大学の二次試験の実力を示す数値です。

[第1回実力考查教科・科目別講評]

〈国語〉

設問ごとの平均点は解答例に記載の通り。現代文の得点率に大きな差はなく、点差が開いたのは、古典分野である。

現代文は、評論・随想とともに文章構造をとらえながら読むことを心がけよう。記述問題の解答は、むやみに本文の言葉を切り貼りするのではなく、設問に対応する解答をわかりやすく作成する力を身につけよう。

古文・漢文は、基本的な単語の意味、文法事項、古典常識についての基礎的な知識が欠落している答案が目立ち、非常に残念であった。繰り返し学習し続けてほしい。また、課題から出題された問題の出来が悪く、問題集に対する日頃の取り組みの甘さが露呈した形になった。さらに、実力問題は、比較的読みやすい内容の文章であったにもかかわらず、白紙に近い答案も多く見受けられた。最後の問題ということもあるが、時間配分を考えて問題を解くことを心がけてほしい。

〈数学〉

文系120分、理系150分の試験で、当日は最後の教科でありながら、答案からしっかりと取り組めた形跡が見られた。受験勉強も長期間になるので体力は必要になってくる。大問2~5は文理共通問題であるが、その他は文系なら理系の大問1を、理系なら文系の大問1と5を解いておくようにしたい。また、別解も多く紹介しているのでじっくり読んでほしい。既習事項の

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〔自己実現2022〕など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

抜け漏れで得点できていない答案が多く見られたので、基本事項の知識の習得を核にして学習をしたい。特に、**大問4**のいわゆる「1/6 公式」を利用するときに x^2 の係数をかけ忘れるミスが起きているように、覚えているつもりが間違って覚えていることは自分では中々気付きにくいので試験や授業の問題演習の中でしっかりと自分の知識と照らし合わせて間違った知識を修正してほしい。記述試験では、できる限り式の意味や思考過程を日本語で説明することを心掛けること。本番では、採点者に自分の考えを分かりやすく伝える効果もあるので、つたない日本語でも構わないし、表や図での説明でも構ないので、きちんと説明を記述するようにすること。

〈英語〉

今回の課題実力考查においては、共通テストの形式も意識し作問を行った。三年になって初めての授業でお知らせしたとおり、「受験勉強にあたって」をよく読み、早めに語彙力をつけ、ライバルに差をつけられるように頑張ってもらいたい。

実力長文に関しては、特に記述問題について全く解答していない人が多く見られた。食わず嫌いをなくし、記述問題に正面から取り組む気力を持ってほしい。情報スキャニング・スキミングの問題はよく来ていたが、中に早とちりをしての誤答が見られた。ニュースレターや e-mail のやり取りに関する問題は、共通テストを強く意識した問題であり、復習する中で、その問題形式にいち早くなじむことが重要。共通テストでは、センター試験より 1200 語ほど語彙数が増え、スピードも重視されるが、早とちりだけはしないように気をつけてほしい。そして、6月の実力考查までに、ジーニアスの 2200 語をすべて覚えてほしい。共通テストでは知らない単語はなくしてほしい。

〈理科〉

物理

① (力学) は標準的な問題である。木片の水中における周期運動について、浮力・重力の仕事を求め、単振動の運動方程式からの加速度と周期を導くことができるかを出題した。② (波動) は正弦波の入射波と反射波を重ね合わせた定常波について、正弦波の式を展開して、変位、定常波の腹の間隔を求める能够性があるかを問うた。③ (熱力学) は $p-V$ 図を使った気体の状態変化について、熱量、気体の仕事を定積・定圧モル比熱を使って求め、熱力学第一法則を理解して、仕事及び温度の大小関係が説明でき、 $p-V$ 図を覚えることができるかを見た。① (力学) の得点率は 2 割台、③ (熱力学) は 3 割台と低い、特に①は頻出の力学の問題であるので、類似問題を解いて要点を押さえる必要がある。また、③の熱力学については公式を単に覚えるだけでなく、熱の物理現象を理解した上で法則を使って解けるようにしたい。今後も各分野の問題演習にしっかりと取り組んで、物理現象・法則の理解を深めて、着実に解けるようにしたい。

	得点率 %			平均点
	①	②	③	
全体	22.2	62.4	36.8	38.8
普通科	18.5	60.0	31.3	34.6
総合理学科	38.6	73.2	61.3	53.0

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

[自己実現 2022]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

物理基礎

各分野の基本問題を出題した。① C・D(力学), ② A(熱)・B(波)は特に正答率が低かった。公式を使って解く問題はもちろんだが、静止する物体にはたらく力について考察した

① Cのような問題を迷うことなく解けるようにならう。とは言え、文系にとっての物理基礎はここからである。今一度、教科書をしっかり読み込み、演習を積めば、秋以降の成果が十分に期待できる。内容は決して多くない。多くの時間をかける必要はない。「できなかった問題」を次に解くときに「できる問題」にすることを目標にして、学習計画を立ててほしい。

化学

目新しい問題はあったものの、難問はなく、全体的に解きやすい問題が多かった。

理科の演習不足は想定内ではあるが、化学が入試に必要となる者は少なくとも秋にはこのレベルの問題は全員が解ききらねばならない。2学期の期末考査の範囲である無機化学分野は比較的正答率が高かったが、計算式を要した問題については手が出ていない者も多かった。特に④(4)は入試に必須の平衡分野であり、問題も共通テスト

に出題されるような典型的な問題であったが、正答率は8%とかなり低い。まずは無機化学・有機化学を新たに学習していく授業を優先に学習し、休日等で時間があるときの演習は自分の現時点での学力に合わせてニューグローバルや重要問題集を用いて、理論分野をしっかり復習していってほしい。

大問	平均点
1. 小問集合	13.2/30点
2. 電気分解・結晶格子	9.2/25点
3. 蒸気圧降下	3.5/16点
4. アンモニア/化学平衡	11/29点

化学基礎

1年間のプランクがあったことと計算問題をやや多くしたこともあり、平均点は10点付近と厳しい結果であった。計算問題についてはやや難しい内容であったが、【2】(1)の中和滴定で使用する器具名を答える問題では予想より正答率が低かった。むやみに暗記に頼らず演習を重ねて理解を深めてほしい。また夏までに学習を終われるよう今から計画的に学習を進めてほしい。

生物

大問4問中、正答率が最も低かった(18%)②では、変数は何かをおさえたグラフ読解、そして2つの事象を比較する際には、実験結果のグラフの数値を意識して、違いを見出していくように。また、簡単な内容でも端的に短文(30~40字程度)で記述する力は神戸大学では必須である。③(正答率32%)では、ラクトースオペロンの標準的な問題で、図録P.92で復習をすること。調節タンパク質の結合箇所と調節作用は必須事項である。④(正答率30%)では、図1の電子の流れに着目し、図2のシトクロム複合体の酸化還元状態の変化より、光化学系と波長の関係を読み取ることが重要。酸化還元の定義を忘れないように。

生物基礎

大問4問中、①が正答率41%と最も低く、ミクロメーターの計算問題の復習が必要である。次に正答率が低かった④では森林の階層構造と光合成曲線及びバイオームに関する問題であった。言葉の意味を理解しながら、細かい点に注意して正しい文を選ぶ力をつけていく必要がある。夏休みまでに教科書および「チェック&演習生物基礎」を使い、基礎の仕上げをすること。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

[自己実現2022]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈地歴〉

世界史 平均44.4点 最高点:93点 最低点:15点

今回の考查では、2年の学習範囲から二次試験を意識した論述問題2問と共通テストを意識した正誤問題38問、一問一答式問題20問を出題した。全般に低調で、基礎知識が不足していると思われる。近現代史は、入試でも頻出で、折を見て復習も必要である。その際には、教科書を精読し、歴史の流れを理解し、同時代の出来事や関連にも注目すること。写真や地図・図表などもしっかりと見ておく必要がある。今後とも諸君の健闘を期待しています。

日本史

共通テスト問題に準じた正誤問題、文系には私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。文系平均46点、理系平均点45点でした。難易度は基礎基本問題を中心に出題しました。残念ながら、まだ社会のほうにまで勉強が進んでいないように思われます。日々の授業ならびに今後実施する小テストに全力に取り組みましょう。地道な努力が成績向上につながると思います。

地理 平均54点 文のみ56点 総理のみ63点

センター試験、業者模試の過去問で、共通テストに出題されそうな問題から出題しました。2年次の、特に1学期の自然地形、気候の問題で、基本的な問題が出来ていませんでした。2月に行われた模試の正答率の悪かった問題を再び出しましたが、出来ていません。安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯の区別は地図を見てどこにあるかをしっかりと認識する必要があります。気候と海流、東海岸か西海岸か、など、ある法則がわかればいちいちこの場所の気候は何気候などと覚える必要ありません。その基本をしっかりと覚えること。3年で購入した地理Bの教科書の2年で既習した場所を今のうちにじっくりと読んで復習してください。

■まとめ:『成績のいい人はテストの見直しをしている!』

テストは結果ばかりを見るのではなく、間違った問題を必ず見直しすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

[後記] 3年生になって初めての校内実力考查の結果はどうでしたか?人によっては2年生の時の成績から、かなり変動がありました。日々の取り組みの違いが少しずつ積み重なって大きく成績の差に現れたのだと思います。次の校内実力は6/14(月)・15(火)です。その前の6/4(金)放課後と6/5(土)全日に「進研総合学力マーク模試」があります。今回の成績に満足がいかない人は、自分で1か月の計画を立てて、次のテストまでに着実に学習を進めてください。進路指導室前に置いている『学習記録表』も活用してください。テスト結果が今一つだった人は「人と比べて自分をみるのではなく、昨日の自分より一歩だけ前進していればいい!」と前向きに考えましょう。新入生が部活動に加入し、部活動にも活気が増しています。後輩たちに技術面だけでなく勉強の面でも尊敬される先輩を目指しましょう。疲れていても予習、復習を欠かさず、毎時間の授業に集中し、居眠りなど決してしない先輩こそ尊敬される先輩です。新入生から全ての意味で憧れの先輩となれるよう、気を引き締めて日々の学校生活を送りましょう。そしてかっこよく『第一志望に現役合格』を果たしましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

[自己実現2022]など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。